

げし 6月21日は夏至



(※枇杷です…)

6月21日は二十四節気の 「夏至(げし)」です

北半球においては、1年のうちで最も昼の時間（日の出から日没までの時間）が長くなるため、「1年で最も日が長い日」としておなじみです。夏至の日は太陽の位置が1年で最も高くなるので、日が昇ってから沈むまでの時間が長いわけです。正午頃に太陽がほぼ真上を通るため、大変短い影を見て、夏至を実感する方も多いのではないのでしょうか。

ちなみに夏至の日に日本の大都市で一番昼の時間が長いのは『札幌』で約15時間23分だそうです。

そして南半球では季節が逆なので一年で昼の時間が一番短い『冬至』にあたります！

by 千石のそよ風